

開設の目的・概要 等			
人生100年時代を迎え、がんや循環器疾患などの個人の遺伝特性と生活習慣により罹患を予測・予防できる疾患が増える中、予防医療と人間ドックのニーズが高まっている。人間ドックの受診者数は年々増加しており、一方で検査診断技術も劇的に進化し、リキッドバイオプシーや遺伝子検査など、医療健診機関を介さない疾病罹患予測も増加していくことが予想される。先端的な人間ドックについてエビデンスに基づく検査と適切なヘルスコミュニケーションにより、受診者のヘルスリテラシーを向上させることが求められている。 本講座は、既存の大学病院での外来・入院ドックに加えて全ゲノム遺伝子検査を含む先端的人間ドックサービスを構築し、種々の新規予防医学的バイオマーカーの発見、活用につなげることを目的とする。ICTを活用した継続的なフォローアップと効果的な説明方法やヘルスコミュニケーションを構築し、受診者のヘルスリテラシー向上を目指す。 下記の教育研究を予定している。 1）人間ドック健診データを用いた生活習慣病に関する研究 2）先進的予防医療・人間ドックの開発に関する研究（全ゲノム遺伝子関連検査を含む）			
区分	番号	学位論文	国際共同
英文原著	1	Fujisawa T, Fukuda H, Sakamoto N, Hojo M, Tomishima K, Ishii S, Yokokawa H,Saita M, Naito T, Nagahara A, Watanabe S, Isayama H. Relief Effect of Carbon Dioxide Insufflation in Transnasal Endoscopy for Health Checks-A Prospective,Double-Blind, Case-Control Trial. J Clin Med. 2022 ;11(5):1231.	
英文原著	2	Igawa G, Ai T, Yamamoto T, Ito K, Nojiri S, Saito K, Wakita M, Fukuda H,Hori S, Misawa S, Miida T, Seyama K, Takahashi K, Tabe Y, Naito T. Antibody response and seroprevalence in healthcare workers after the BNT162b2 vaccination in a University Hospital at Tokyo. Sci Rep. 2022 ;12(1):8707.	
区分	番号	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文総説	1	Hiroshi FUKUDA, Keiji KIKUCHI, Hiroyuki ISHIOKA, Masaki TAKEBAYASHI. Preliminary Evaluation of the “Eat, Sleep, Walk” Health Literacy Development Project Using ICT and Nudges. J Nutr Sci Vitaminol2022 ;68: S84–S86	
区分	番号	発表者名,発表タイトル（題目・演題・課題等）,学会名,場所,発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1	Hiroshi Fukuda, Fumiko Kitajima, Satoru Kanamori. Corporate response to the COVID-19 pandemic and the usefulness of the study group for multidisciplinary occupational health staffs. The 33rd International Congress on Occupation Health (ICOH 2022) Melbourne-Rome Global Digital Congress, e-poster(17. OCCUPATIONAL HEALTH AND COVID-19), 6-10 February 2022	
国際学会発表	2	Hiroshi Fukuda. Overview and preliminary evaluation of the "Eat, Sleep, Walk" health literacy development project using ICT and Nudge. The 24th IUHPE World Conference on Health Promotion (IUHPE 2022), Parallel oral session/Online, Wednesday, May 18, 2022	
国際学会発表	3	Hana Tokuda, Hiroshi Fukuda, Mizue Saita, Chieko Hamada, Naomi Matsumoto, Erika Nagata, Hirohide Yokokawa. Associations between health literacy, lifestyle, and visceral fat obesity among patients who underwent health screening at a university hospital in Tokyo. The 24th IUHPE World Conference on Health Promotion (IUHPE 2022), poster session, Monday, May 16, 2022	
国際学会発表	4	Chairs and speakers: Don Nutbeam/ Hiroshi Fukuda, Mary Murimi . Symposium [Track 5] "Food Culture Practices and Nutrition Education": "Health literacy and nutrition education" (Co-organized by Japanese Society of Health Education and Promotion) ,Workplace Health Promotion and Health Literacy. 22nd IUNS-ICN International Congress of Nutrition (22nd IUNS-ICN 2022 Tokyo), Tokyo International Forum (Tokyo), December 9 (Friday), 2022	
区分	番号	学位論文	国際共同
		全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年；巻（号）：ページ番号	

和文原著	1	後藤理絵, 竹林正樹, 関根千佳, 福田洋. ナッジを用いた口腔健康行動促進に向けた漫画冊子の開発ー20〜40歳代労働者を対象としたウェブ調査によるプロセス評価ー. 日本健康教育学会誌 2022; 30(4): 294-301	
和文原著	2	伊藤 佳奈美, 福田 洋, 上田 久美子, 名倉 梨絵, 信田 由佳, 高柳 緑, 齋田 瑞恵, 北條 麻理子, 永原 章仁, 瀬山 邦明, 内藤 俊夫, 本学大学生に対するヘリコバクターピロリ検診導入プロジェクト (会議録)総合健診(1347-0086)2022年 ; 49巻1号 215	
和文原著	3	渡邊 祐, 鈴木 麻衣, 福田 洋, 横川 博英, 内藤 俊夫, 内臓脂肪・皮下脂肪の蓄積と糖尿病との関連についての検討(会議録) 日本内科学会雑誌(0021-5384)2022年 ; 111巻Suppl. 198	
区分	番号	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
和文総説	1	福田洋企画・著, 特集【コロナで変わる健康教育とヘルスプロモーション】企業の新型コロナ対応と産業保健活動・職域ヘルスプロモーションの変化, 公衆衛生 2022; 86(9):774-782	
和文総説	2	福田洋. 第24回IUHPE国際会議の概要とNPWP（北部西太平洋地域）の動向. 日本健康教育学会誌 2022; 30(4): 319-322	
和文総説	3	福田洋. ヘルスリテラシー向上が企業にもたらす効果. 特集・働く人のヘルスリテラシーを高める. 安全と健康 2022; 23(8): 17-22	
区分	番号	全著者名,書籍名,出版社名, 出版年, ページ番号等	国際共同
和文著書	1	村山洋史・江口泰正・福田洋編著, ナッジ×ヘルスリテラシーーヘルスプロモーションの新たな潮流, 株式会社大修館書店, 2022年10月1日	
区分	番号	発表者名,発表タイトル(題目・演題・課題等),学会名,場所,発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	伊藤佳奈美, 福田洋, 上田久美子, 名倉梨絵, 信田由佳, 高柳緑, 齋田瑞恵, 北條麻理子, 永原章仁, 瀬山邦明, 内藤俊夫. 本学大学生に対するヘリコバクターピロリ検診導入プロジェクト. 日本総合健診医学会第50回大会, WEB開催（ウェスティンホテル仙台/トラストシティカンファレンス, 宮城県仙台市）, 2022年1月28日	
国内学会発表	2	渡邊祐, 鈴木麻衣, 福田洋, 横川博英, 内藤俊夫. 内臓脂肪・皮下脂肪の蓄積と糖尿病との関連についての検討. 第119回日本内科学会講演会, WEBプレゼンテーション発表（京都市勧業館（みやこめっせ）・ロームシアター京都/京都市）, 2022年4月16日〜4月17日	
国内学会発表	3	福田洋. ラウンドテーブル3・健康教育、ヘルスプロモーション分野の国際学会発表の活性化とIUHPEに参加する意義・楽しさ・魅力について考える. 第30回日本健康教育学会学術大会, オンライン開催（獨協医科大学壬生キャンパス, 栃木県）, 2022年7月24日	
国内学会発表	4	原田健, 福田洋, 三輪真也, 今井真美, 山下真理子, 脇神亜希子, 高谷典秀. 男性における頸動脈エコー所見と動脈硬化関連因子の検討 第五報. 第63回日本人間ドック学会学術大会, 幕張メッセ国際会議場/千葉県, 2022年9月3日	
国内学会発表	5	福田洋, 笹原千穂, 坂本侑香, 沢田幸子, 菅原京子, 岡浩一朗. 座りすぎを防ぐビデオ配信を用いた職域ヘルスプロモーションの実践. 第19回日本ヘルスプロモーション学会・第11回日本産業看護学会合同学術大会, 産業医科大学ラムツィーニホール/北九州（現地・オンラインのハイブリッド開催）, 2022年11月27日	
区分	番号	講演者名, 講演タイトル, 学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	福田洋代表世話人, 江口泰正, 永田智久, 松葉泰昌, 伊藤佳奈美, 金森悟, 楠本真理, 坂本侑香, 白田千佳子, 高家望, 田澤美香代, 安倉沙織. 第45回健康教育・ヘルスプロモーション研究会・職域におけるナッジ×ヘルスリテラシー. 第95回日本産業衛生学会, オートピア研修室/高知県高知市（ハイブリッド開催）, 2022年5月26日	
特別講演・招待講演	2	福田洋・春山康夫座長, 衛藤隆, 神馬征峰, 武見ゆかり, 島内憲夫. メインシンポジウム・健康教育の過去・現在・未来〜学会の歴史と現状を踏まえて今後の活動を展望する〜. 第30回日本健康教育学会学術大会, オンライン開催（獨協医科大学壬生キャンパス, 栃木県）, 2022年7月24日	
特別講演・招待講演	3	福田洋, 江口泰正. 日本産業衛生学会第46回健康教育・ヘルスプロモーション研究会・職域ヘルスプロモーションの実践報告, 東京（Zoomによるオンライン開催）, 2022年8月19日	

特別講演・招待講演	4		福田洋. 順天堂大学での実戦状況, 第5回遺伝学的検査アドバイザー研修会, 第63回日本人間ドック学会学術大会, 幕張メッセ国際会議場/千葉県, 2022年9月3日	
特別講演・招待講演	5		杉森裕樹・江口泰正座長, 奥原剛, 忽那賢志, 藤内修二, 福田洋. 第2回日本ヘルスリテラシー学会学術集会シンポジウム「COVID-19とヘルスリテラシー 国民への情報発信と地域・職域での対応」, 企業のCOVID-19対応と職域におけるヘルスリテラシー. ヘルスコミュニケーションウィーク2022名古屋, オンライン（金城学院大学看護学部W5棟・オンラインのハイブリッド開催）, 2022年10月1日	
特別講演・招待講演	6		杉森裕樹・中山健夫座長, 立道昌幸, 原聖吾, 武藤繁貴, 高谷典秀, 福田洋. 緊急企画・このままで良いのか？－VUCA（予測不能の時代）における健診・保健指導？－. 第81回日本公衆衛生学会総会, YCC県民文化ホール/山梨県甲府市, 2022年10月8日	
特別講演・招待講演	7		江口泰正・福田洋座長・演者, 石川ひろの, 竹林正樹. シンポジウム2「ヘルスリテラシーの評価、研究、支援の新しい潮流」・職域におけるヘルスリテラシー向上への介入と評価について～「くうねるあるく+ふぜぐ」の事例を含めて. 第19回日本ヘルスプロモーション学会・第11回日本産業看護学会合同学術大会, オンライン（ハイブリッド開催、産業医科大学ラマツイーニホール/北九州）, 2022年11月26日	